

図表との関連を考えながら読む

〈宮崎市の人口〉

組 番 氏名

山田さんの学校では、総合的な学習の時間に自分たちの住む宮崎市について調べ、発表を行うことになりました。山田さんは、人口の移り変わりについて調べました。

資料1と3を読んで、後の問いに答えなさい。

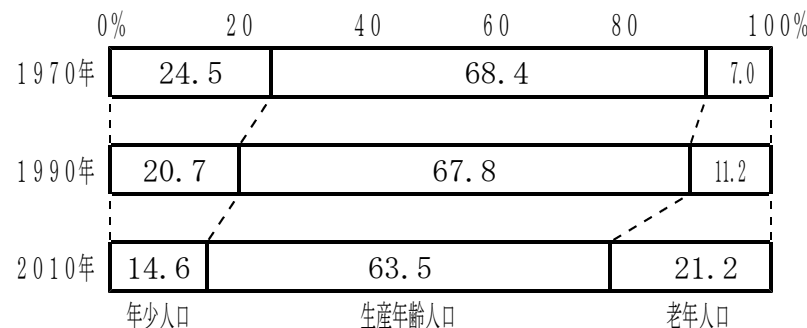
(人)

資料1 「宮崎市の人口の推移」

	1970年	1990年	2010年
0～14歳 (年少人口)	60, 158	70, 729	58, 326
15～64歳 (生産年齢人口)	167, 778	232, 165	254, 185
65歳以上 (老年人口)	17, 274	38, 526	85, 048
総人口	245, 210	342, 573	400, 583

※ 「平成22年国勢調査宮崎県の概要」 宮崎県ホームページより作成

資料2 「宮崎市の年齢人口の総人口に占める割合の推移」



※ 資料1のデータをもとに作成

資料3 「山田さんの発表原稿の一部」

わたしは1970年から2010年までの宮崎市の人口の移り変わりについて調べました。

まず、この40年間の人口の増減について考えてみました。

1970年と2010年を比べると、0～14歳の人口は (①)。1970年と2010年を比べると、65歳以上の人口は (②)。

次に、年齢人口の総人口に占める割合の推移について考えてみました。

1970年の年少人口（0～14歳）は60,158人で、総人口の24.5%です。それに対し、2010年の年少人口（0～14歳）は58,326人で、総人口の14.6%です。

いっぽう、老年人口（65歳以上）については、1970年は17,274人に対して、2010年には85,048人になっています。

このことから、この40年間で、総人口に対する年少人口（0～14歳）の割合は10%近くも減少し、逆に老年人口（65歳以上）の人口は8倍以上に増えていることがわかります。

(一) 資料3の①・②に当てはまる言葉を書きなさい。

②	①
増えています (増加しています)	減っています (減少しています)

〔解答のポイント〕
発表原稿が「です。ます。」(敬体)で書かれているので、文末表現をそろえるようにしましょう。

(二) 次のア～エの各文は、資料の内容について説明したものです。資料の内容と合っていないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 山田さんは、宮崎市の人口の二十年ごとの変化について調べている。
- イ 山田さんは、宮崎市の人口の男女比についても調べている。
- ウ 山田さんは、宮崎市は四十年間に、老年人口の総人口に占める割合が、十四%以上も増えていることを調べている。
- エ 山田さんは、宮崎市の人口の推移だけでなく、それぞれの年齢人口が総人口に占める割合も調べている。

イ

(三) 山田さんの発表原稿の後半(……………で囲っている部分)は、比較の仕方がふさわしくありません。あなたは、どのような点がふさわしいかについて説明しなさい。

条件

- ・「人口」と「年齢人口の総人口に占める割合」
- ・六十字以上八十字以内で説明すること。

〔解答例〕

	わ	え	説	に	
	し	た	明	占	年
	く	こ	し	め	少
	な	と		る	人
	い	を	老	割	口
80字	と	説	年	合	は
	思	明	人	「	」
	う	し	口	で	年
	。	て	は	減	齢
		い	「	少	人
		る	人	し	口
		点	口	た	の
		が	「	こ	総
		ふ	で	と	人
		さ	増	を	口

60字

〔解答のポイント〕
山田さんの発表原稿は、比較の仕方が異なることがふれられていれば正解です。